



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社ソフトクリエイティブホールディングス
 コード番号 3371 URL <http://www.softcreate-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 林 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 中桐 雅宏

TEL 03-3486-0606

定時株主総会開催予定日 2019年6月20日 配当支払開始予定日

2019年6月6日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	19,358	24.1	1,887	10.6	2,010	12.1	1,164	1.7
2018年3月期	15,596	13.6	1,707	10.5	1,793	10.7	1,145	13.4

(注) 包括利益 2019年3月期 1,527百万円 (7.0%) 2018年3月期 1,427百万円 (27.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	88.08	85.11	13.0	13.5	9.7
2018年3月期	85.48	82.68	13.9	13.5	10.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 25百万円 2018年3月期 41百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,899	10,568	58.9	713.40
2018年3月期	13,785	9,178	61.9	637.52

(参考) 自己資本 2019年3月期 9,362百万円 2018年3月期 8,532百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,444	1,808	32	5,862
2018年3月期	1,559	221	828	6,177

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		10.00		10.00	20.00	267	23.4	3.1
2019年3月期		10.00		10.00	20.00	263	23.0	2.8
2020年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00		21.9	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,218	15.2	995	2.0	1,040	7.0	607	18.9	46.25
通期	20,600	6.4	2,010	6.5	2,100	4.6	1,200	4.2	91.44

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	13,775,139 株	2018年3月期	13,775,139 株
期末自己株式数	2019年3月期	651,361 株	2018年3月期	400,659 株
期中平均株式数	2019年3月期	13,221,750 株	2018年3月期	13,398,335 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,739	12.3	437	30.8	459	29.0	465	25.4
2018年3月期	1,549	22.6	632	20.2	647	16.4	623	25.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	35.19	34.03
2018年3月期	46.53	45.09

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,877	5,274	89.4	400.20
2018年3月期	5,828	5,496	93.8	408.93

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,252百万円 2018年3月期 5,469百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(会計方針の変更)	P. 13
(表示方法の変更)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 15
(重要な後発事象)	P. 15
4. その他	P. 15
(1) 役員の変動	P. 15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦の影響や中国経済の景気減速等による海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等の懸念により、先行きは依然として不透明感はあるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。

当社グループが属するIT業界は、EC市場及びインターネット広告市場の拡大を背景としたネット通販サイトの構築需要やインターネット広告需要が拡大しております。また、企業の相次ぐ情報漏えい事件の影響によりセキュリティへのIT投資意欲の高まりやクラウドサービス市場の拡大を背景としたクラウドサービス需要が拡大するなど、企業のIT投資は順調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループはECサイト構築パッケージ「ecbeing」を活用したECソリューション事業の業績拡大に注力したことに加え、セキュリティビジネスや当社独自のサービスである「SCクラウド」の拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は193億58百万円（前期比24.1%増）、営業利益は18億87百万円（同10.6%増）、経常利益は20億10百万円（同12.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は11億64百万円（同1.7%増）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

(ECソリューション事業)

ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、Webマーケティングサービス等の付加価値サービスを提供し、トータル的なECソリューションを提供しております。

ECソリューション事業は、インターネット広告売上高、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売、保守及びホスティング売上高が伸長したことにより、売上高は88億50百万円（前期比22.8%増）、セグメント利益（経常利益）は16億17百万円（同1.5%減）となりました。

(システムインテグレーション事業)

当社グループが開発した3つのプロダクト製品（「Xpoint」、「AgileWorks」、「L2Blocker」）の販売、ネットワーク構築を提供しております。

システムインテグレーション事業は、ワークフローシステム「AgileWorks」、不正アクセス端末検知・遮断システム「L2Blocker」のプロダクト売上高が伸長しました。また、ネットワーク構築売上高及び当社独自のサービスである「SCクラウド」のクラウドサービス売上高の伸長により、売上高は52億90百万円（前期比30.8%増）、セグメント利益（経常利益）は15億56百万円（同63.8%増）となりました。

(物品販売事業)

法人顧客向けにパソコン及びサーバー等のIT機器の販売、市販パッケージソフトウェアを提供しております。

物品販売事業は、Windows 10リプレース需要が増加したことにより、パソコン等の販売が増加し売上高は52億16百万円（前期比20.0%増）、セグメント利益（経常利益）は43百万円（同50.0%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.7%増加し、101億17百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が5億18百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ43.5%増加し、57億82百万円となりました。これは、主に投資有価証券が11億6百万円、のれんが5億42百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて15.3%増加し、158億99百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6.8%増加し、37億58百万円となりました。これは、主に未払法人税等が2億25百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ44.5%増加し、15億73百万円となりました。これは、主に繰延税金負債が1億7百万円、役員退職慰労引当金が2億5百万円、退職給付に係る負債が1億71百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ15.7%増加し、53億31百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15.1%増加し、105億68百万円となりました。これは、主に利益剰余金が8億22百万円、非支配株主持分が5億59百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億15百万円減少し、58億62百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、14億44百万円（前期は15億59百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が5億66百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が20億9百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億8百万円（前期は2億21百万円の使用）となりました。これは、主に有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が3億9百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が8億87百万円、有形・無形固定資産の取得による支出が3億99百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が6億5百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、32百万円（前期は8億28百万円の使用）となりました。これは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入が1億円、非支配株主からの払込による収入が6億72百万円あったものの、自己株式の取得による支出が5億48百万円、配当金の支払が2億65百万円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2018年3月期 (連結)	2019年3月期 (連結)
自己資本比率(%)	61.8	58.9
時価ベースの自己資本比率(%)	140.8	137.6
キャッシュ・フロー対有利子負債率(%)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—

(注) 1 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式の時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3 有利子負債がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ECソリューション事業において、EC市場及びインターネット広告市場の拡大を背景としたネット通販サイトの構築需要やインターネット広告需要が拡大することを想定しております。そのほか、システムインテグレーション事業において、企業の相次ぐ情報漏えい事件の影響によるセキュリティへのIT投資意欲の高まりや、クラウドサービス市場の拡大を背景としたクラウドサービス需要の拡大により、全体売上高は増加することを想定しております。

費用面については、製品機能の充実のための費用増や、知名度向上のための広告宣伝費の増加及び新卒社員の積極的な人材採用による採用費の増加等はあるものの、ECソリューション事業売上高及びシステムインテグレーション事業売上高の拡大に伴う利益増が吸収し、利益は増益を想定しております。

次期の連結業績予想につきましては、売上高は206億円（前期比6.4%増）、営業利益は20億10百万円（同6.5%増）、経常利益は21億円（同4.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億円（同4.2%増）を計画しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,195,352	5,862,028
受取手形及び売掛金	2,686,678	3,205,437
電子記録債権	47,657	55,158
有価証券	982,483	125
商品	117,991	252,161
未成業務支出金	121,627	221,046
その他	605,086	523,789
貸倒引当金	△1,711	△2,465
流動資産合計	9,755,165	10,117,281
固定資産		
有形固定資産		
建物	212,405	218,401
減価償却累計額	△68,134	△88,333
建物(純額)	144,270	130,067
工具、器具及び備品	443,392	501,950
減価償却累計額	△293,416	△357,551
工具、器具及び備品(純額)	149,976	144,398
土地	42,355	17,306
有形固定資産合計	336,602	291,772
無形固定資産		
ソフトウェア	511,055	540,822
のれん	—	542,858
その他	2,500	2,500
無形固定資産合計	513,555	1,086,180
投資その他の資産		
投資有価証券	2,416,892	3,523,801
繰延税金資産	389,425	437,964
その他	378,922	449,828
貸倒引当金	△5,214	△6,907
投資その他の資産合計	3,180,025	4,404,686
固定資産合計	4,030,184	5,782,640
資産合計	13,785,349	15,899,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,488,142	1,238,439
未払法人税等	330,702	556,273
賞与引当金	307,018	356,546
その他	1,392,519	1,606,773
流動負債合計	3,518,382	3,758,032
固定負債		
繰延税金負債	66,883	174,677
役員退職慰労引当金	228,008	433,017
退職給付に係る負債	727,165	898,661
資産除去債務	66,653	66,864
固定負債合計	1,088,710	1,573,220
負債合計	4,607,093	5,331,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	1,218,781	1,459,593
利益剰余金	6,945,106	7,767,362
自己株式	△550,727	△985,588
株主資本合計	8,467,262	9,095,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,716	318,670
退職給付に係る調整累計額	△50,502	△51,675
その他の包括利益累計額合計	59,214	266,995
新株予約権	27,510	22,113
非支配株主持分	624,269	1,184,090
純資産合計	9,178,256	10,568,668
負債純資産合計	13,785,349	15,899,921

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	15,596,817	19,358,155
売上原価	10,753,374	13,314,649
売上総利益	4,843,442	6,043,505
販売費及び一般管理費	3,136,337	4,156,151
営業利益	1,707,104	1,887,354
営業外収益		
受取利息	18,484	9,352
受取配当金	27,929	41,687
持分法による投資利益	41,980	25,972
為替差益	12,412	49,010
有価証券売却益	—	35,437
その他	32,342	26,884
営業外収益合計	133,148	188,344
営業外費用		
有価証券売却損	36,026	3,010
貸倒損失	—	22,800
損害補填金	5,288	—
上場関連費用	—	25,657
その他	5,842	13,828
営業外費用合計	47,157	65,295
経常利益	1,793,095	2,010,403
特別利益		
投資有価証券売却益	43,533	33,000
固定資産売却益	30,941	3,640
新株予約権戻入益	210	—
特別利益合計	74,684	36,640
特別損失		
投資有価証券売却損	37,868	8,658
投資有価証券評価損	—	18,485
固定資産除却損	4,366	10,225
特別損失合計	42,235	37,369
税金等調整前当期純利益	1,825,545	2,009,675
法人税、住民税及び事業税	655,774	789,625
法人税等調整額	△67,982	△99,034
法人税等合計	587,792	690,591
当期純利益	1,237,752	1,319,084
非支配株主に帰属する当期純利益	92,521	154,571
親会社株主に帰属する当期純利益	1,145,231	1,164,512

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,237,752	1,319,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,038	208,954
退職給付に係る調整額	120,619	△900
その他の包括利益合計	189,658	208,053
包括利益	1,427,410	1,527,137
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,322,347	1,372,293
非支配株主に係る包括利益	105,063	154,843

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	1,226,438	6,177,462	△123,320	8,134,681
当期変動額					
剰余金の配当			△269,981		△269,981
親会社株主に帰属する当期純利益			1,145,231		1,145,231
連結子会社の増資による持分の増減		△7,656			△7,656
連結範囲の変更に伴う利益剰余金の増加			4,874		4,874
自己株式の取得				△604,065	△604,065
自己株式の処分		△112,481		176,659	64,178
自己株式処分差損の振替		112,481	△112,481		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△7,656	767,643	△427,406	332,580
当期末残高	854,101	1,218,781	6,945,106	△550,727	8,467,262

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	40,678	△158,579	△117,901	37,002	510,643	8,564,425
当期変動額						
剰余金の配当						△269,981
親会社株主に帰属する当期純利益						1,145,231
連結子会社の増資による持分の増減						△7,656
連結範囲の変更に伴う利益剰余金の増加						4,874
自己株式の取得						△604,065
自己株式の処分						64,178
自己株式処分差損の振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	69,038	108,077	177,116	△9,492	113,626	281,250
当期変動額合計	69,038	108,077	177,116	△9,492	113,626	613,830
当期末残高	109,716	△50,502	59,214	27,510	624,269	9,178,256

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	1,218,781	6,945,106	△550,727	8,467,262
当期変動額					
剰余金の配当			△266,394		△266,394
親会社株主に帰属する当期純利益			1,164,512		1,164,512
連結子会社株式の売却による持分の増減		54,517			54,517
連結子会社の増資による持分の増減		186,294			186,294
自己株式の取得				△548,038	△548,038
自己株式の処分		△75,861		113,177	37,316
自己株式処分差損の振替		75,861	△75,861		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計		240,811	822,256	△434,861	628,207
当期末残高	854,101	1,459,593	7,767,362	△985,588	9,095,469

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	109,716	△50,502	59,214	27,510	624,269	9,178,256
当期変動額						
剰余金の配当						△266,394
親会社株主に帰属する当期純利益						1,164,512
連結子会社株式の売却による持分の増減						54,517
連結子会社の増資による持分の増減						186,294
自己株式の取得						△548,038
自己株式の処分						37,316
自己株式処分差損の振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	208,954	△1,172	207,781	△5,397	559,820	762,205
当期変動額合計	208,954	△1,172	207,781	△5,397	559,820	1,390,412
当期末残高	318,670	△51,675	266,995	22,113	1,184,090	10,568,668

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,825,545	2,009,675
減価償却費	344,374	374,528
のれん償却額	—	180,952
貸倒損失	—	22,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△71	1,467
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,961	49,528
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	3,904	3,345
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	156,759	170,198
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	35,868	205,008
受取利息及び受取配当金	△46,413	△51,040
自己株式取得費用	2,274	2,093
固定資産売却損益 (△は益)	△30,941	△3,640
固定資産除却損	4,366	10,225
投資有価証券売却損益 (△は益)	30,361	△56,768
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	18,485
為替差損益 (△は益)	△12,794	△49,114
持分法による投資損益 (△は益)	△41,980	△25,972
新株予約権戻入益	△210	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△285,597	△426,515
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,728	△195,302
仕入債務の増減額 (△は減少)	219,073	△318,691
未払金の増減額 (△は減少)	155,132	43,229
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	△1,693
その他	△8,914	△5,849
小計	2,365,971	1,956,950
利息及び配当金の受取額	50,886	54,341
法人税等の支払額	△857,787	△566,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,559,070	1,444,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,163	△77,489
有形固定資産の売却による収入	65,900	28,690
無形固定資産の取得による支出	△310,016	△322,127
投資有価証券の取得による支出	△1,009,727	△887,694
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,350,556	309,059
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△605,652
関係会社株式の取得による支出	△100,402	△184,600
貸付けによる支出	△140,975	△177,905
貸付金の回収による収入	3,295	162,822
敷金及び保証金の差入による支出	△5,831	△54,072
その他	105	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,259	△1,808,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	82,784	38,051
自己株式の取得による支出	△604,065	△548,038
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	100,859
非支配株主からの払込みによる収入	—	672,396
配当金の支払額	△268,084	△265,355
非支配株主への配当金の支払額	△39,133	△30,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△828,499	△32,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,232	81,541
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	486,079	△315,682
現金及び現金同等物の期首残高	5,673,686	6,177,836
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,071	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,177,836	5,862,154

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)の適用に伴う変更)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、子会社に製品・サービス別の事業部門を設置し、各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ECソリューション事業」、「システムインテグレーション事業」及び「物品販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ECソリューション事業」は、ECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」のパッケージソフトの販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、SEO対策及びプロモーション等の付加価値サービスを提供し、トータル的なECソリューションを提供しております。

「システムインテグレーション事業」は、当社グループが開発した3つのソフトウェアプロダクト(X-p o i n t、A g i l e W o r k s、L 2 B l o c k e r)の販売、ネットワーク構築を提供しております。

「物品販売事業」は、パソコン及びサーバー等のIT機器の販売、市販パッケージソフトウェアを販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	ECソリューション事業	システムインテグレーション事業	物品販売事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,205,466	4,044,918	4,346,433	15,596,817	—	15,596,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	37,307	136,860	207,937	382,105	△382,105	—
計	7,242,773	4,181,778	4,554,370	15,978,921	△382,105	15,596,817
セグメント利益	1,641,701	950,047	85,956	2,677,705	△884,609	1,793,095
セグメント資産	2,368,753	1,227,709	879,384	4,475,846	9,318,958	13,794,804
その他の項目						
減価償却費	149,741	166,023	3,392	319,156	25,217	344,374
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	207,260	162,951	652	370,863	14,887	385,752

(注) 1 セグメント利益の調整額△884,609千円は、セグメント間取引△100,717千円、その他調整額△12,673千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△771,217千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ECソリューション事業	システムインテグレーション事業	物品販売事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客に対する売上高	8,850,465	5,290,981	5,216,708	19,358,155	—	19,358,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,461	181,062	224,678	420,202	△420,202	—
計	8,864,926	5,472,044	5,441,386	19,778,358	△420,202	19,358,156
セグメント利益	1,617,833	1,556,295	43,003	3,217,133	△1,206,729	2,010,403
セグメント資産	3,359,790	1,508,190	1,170,975	6,038,956	9,860,964	15,899,921
その他の項目						
減価償却費	166,442	178,334	2,648	347,424	27,103	374,528
のれんの償却額	180,952	—	—	180,952	—	180,952
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	911,185	156,715	2,856	1,070,756	40,371	1,111,128

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,206,729千円は、セグメント間取引△110,699千円、その他調整額△1,340千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,094,689千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ECソリューション事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、株式会社エートゥジェイの発行済普通株式の79.3%取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	637円52銭	713円40銭
1株当たり当期純利益金額	85円48銭	88円08銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	82円68銭	85円11銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,145,231	1,164,512
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,145,231	1,164,512
普通株式の期中平均株式数(株)	13,398,335	13,221,750
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	△2,075	△834
(うち連結子会社の潜在株式による調整額)	(△2,075)	(△834)
普通株式増加数(株)	427,145	451,069
(うち新株予約権(株))	(427,145)	(451,069)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 新任監査役候補

監査役 太田 晴彦

② 退任予定監査役

監査役 石原 栄一